

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-------------------|
| 施設所在地 | 東京都江東区南砂2-3-1-101 |
| 施設名 | 江東区南砂第二保育園 |

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

植物の観察

〈テーマの設定理由〉

園庭に咲いている花や蕾を観察していた児が「なんかピーマンみたい。」と言っていたので、「観察してみる？」と声を掛けた事をきっかけに様々なものの観察をするようになった。

2 活動スケジュール

令和7年
11月6日 ①園庭遊び中に植物の観察を数人で行う。
11月21日 ②簡易顕微鏡を用いて観察をする。
3月30日 ③顕微鏡を用いて葉っぱの観察をする。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

・園庭の草花 ・保育園内の玩具
・簡易顕微鏡 ・顕微鏡

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

活動①
・様々な植物や見てみたい玩具等を簡易顕微鏡を用いて観察する。

活動②
・「このお花を観察したい」と伝えてくれた児がおり、園庭に簡易顕微鏡を持っていくと他クラスの児も一緒に観察する姿があった。

活動③
・「もっとよく見たい！」の思いを伝えてくれる姿があり、本物の顕微鏡を用いて葉っぱの観察を実現することができた。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

活動①
・園庭で遊んでいる際、草花の観察を楽しんだ。蕾を「ピーマンみたい」と言い、本当にピーマンなのかどうか観察してみる事にした。機械(顕微鏡)を準備していると、「その機械を使うと大きく見えるの?」「すごいね!」と子ども達は興味津々であった。「このブロックも見てみたい!」と様々試していた。

活動②
・園庭で遊んでいると「お花の中身はどうなっているのかな?」と疑問を持ち、他クラスも巻き込んで観察してみる事になった。「お花の中が黄色い!」「お花の中にお花があるよ。」等、観察して気が付いた事を口々に話していた。

活動③
・前回は少し大きく見えるだけであったが、今回は細かい部分もよく見えたので顕微鏡を覗いた時の子ども達の驚く表情が印象的であった。覗いている対象物を肉眼で見て、顕微鏡を覗いて確認をしていた。顕微鏡を通して葉っぱを観察する事で肉眼では見えない部分に「白い点々見えた!」「丸いのがいっぱい見えた!」「これ、なに?」と興味津々であった。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

・“これはなに?” “どうなってるの?” の問いに応える形で簡易顕微鏡を準備した。肉眼で見るよりも大きく見える事で更に興味を引く事ができた。また、そこから「もっと大きく見てみたい。」という声で今回、本物の顕微鏡を用いて観察する事ができた。本物を見る事で更に“なぜ?” “どうして?” を引き出すことが出来た事で、もっと知りたい。他のものも見てみたい。と次の活動に繋がったように感じる。取り組み始めたばかりなので、引き続き活用し探究を深めたい。